

診察前検査結果報告所要時間

2024 年度 臨床検査部 診察前検査結果報告時間

	血球数算定	プロトロンビン時間	D-ダイマー	生化学検査	尿スクリーニング	尿沈査
目標報告時間	30分以内報告率	45分以内報告率	45分以内報告率	45分以内報告率	20分以内報告率	45分以内報告率
達成目標	30分	45分	45分	45分	20分	45分
4月	97.3%	92.4%	93.3%	71.7%	67.2%	78.4%
5月	95.2%	89.3%	90.2%	68.4%	65.3%	71.2%
6月	95.9%	87.0%	89.0%	72.0%	63.2%	69.3%
7月	92.7%	84.3%	85.9%	75.4%	62.2%	69.7%
8月	91.5%	86.8%	89.2%	70.3%	61.5%	72.7%
9月	90.5%	87.1%	87.5%	64.6%	61.4%	70.5%
10月	95.0%	91.7%	92.4%	76.8%	64.4%	76.7%
11月	93.3%	90.3%	91.6%	69.1%	67.8%	86.1%
12月	94.1%	86.2%	86.5%	71.7%	65.7%	76.2%
1月	88.0%	85.9%	86.7%	58.1%	65.1%	72.1%
2月	92.5%	85.4%	87.4%	67.7%	64.2%	75.6%
3月	89.6%	83.1%	85.0%	66.9%	65.7%	77.2%
年間平均	93.0%	87.5%	88.7%	69.4%	64.5%	74.7%

外来診察前検査結果待ち時間は、短縮できるよう常に意識すべき評価対象であり、臨床検査部では 2017 年から毎月の集計結果を現場にフィードバックし改善活動を継続している。

2020 年度 5 月に検査棟 1 階(血液・尿検査等)の大幅な改革による新たな運用から 5 年が経ち、2024 年度の検査結果報告所要時間は運用が定着した結果として評価できると考える。血算、プロトロンビン時間及び D-ダイマーはいずれも 85%以上と高い達成率であった。一方、生化学検査では目標の 80%を達成できた月はなかったが、達成まであと少しの月が増加してきた。尿スクリーニング検査は目標報告時間 20 分と極めて短時間に設定していたため、目標を達成することができなかった。外来診察前検査として他の検査項目との報告時間も考慮し、今後は目標報告時間を変更する予定である。尿沈渣は 45 分以内報告 85%を達成するためには、目視鏡検率を減少させる必要があり、現場と連携して目視鏡検ロジックの最適化を検討していく。「検査に要した時間の推移」では検査所要時間平均で評価しており、平均化されたデータでは見落としてしまう個別の結果報告時間について、今後も「診察前検査結果報告所要時間」で評価を行い、更なる患者サービスの充実を目指す。また、2025 年度は再び検査棟 1 階の大幅な機器・システムの改修を予定している。新規運用の早期定着を目指し、各種検査項目の報告時間を注視していく。

データ提供 臨床検査部